（様式１）

学校番号	44	学校名	茨城県立土浦第一高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
・男女共同参画社会基本法

校訓

自主　　協同　　責任

学校の教育目標

・生徒一人一人の人間力の育成と高い進路目標を達成する学校を目指す。
・生徒の思考力・判断力・表現力を高める探究学習の実践と、主体的な進路選択及び将来設計を支援するキャリア教育の充実を目指す。
・生徒の安心・安全を守るため、コンプライアンス、危機管理、いじめなどについての適切な対応の徹底を目指す。
・保護者、同窓生、地域、関係機関、そして国内外の教育機関等との連携を強化し、よりよい教育環境の整備を目指す。

生徒の実態

・高い知性とリーダー性をもったトップレベルの生徒が各中学校から入学し、優れた資質・能力を伸ばしながら、全員が4年制大学進学を希望している。
・学習活動や学校行事、部活動への取り組みは意欲的であるが、精神的弱さや悩みを持つ生徒も少なくない。

保護者の願い

・心身ともに健全な若者の育成
・自立した社会に有為な人材の育成
・難関大学入学を含む高い進路希望の実現

道徳教育重点目標

・自己との対峙を通して真摯に自己を理解させる。
・人間としての在り方・生き方に関する自覚を深め、人生を切り拓いていく道徳的実戦力を高める。
・「キャリアデザイン」を生涯にわたって構築していく態度や能力を育てる。

地域の実態

・生徒が将来社会に有為な人材に成長することを期待している。
・高い規範意識を生徒に期待している。

各教科・科目

国語	・日本語の文化や伝統を継承し、伝えあう力を高めるとともに、心情を豊かにする。
地歴	・我が国と世界の生活や文化の理解と平和的な国家社会の一員としての自覚を養う。
数学	・事象を数学的に考察し、創造性の基礎と論理的考え方を身に付けさせる。
理科	・科学的に探求する能力や見方、考え方を養い、科学的な自然観を育てる。
保体	・運動に親しむ資質や能力を育て、健康の保持増進と体力の向上を図る。
芸術	・生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てとともに感性と豊かな情操を養う。
外国語	・外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、実践的コミュニケーション能力を養う。
家庭	・家族、家庭の意義と生活に必要な知識や技能を習得する。
情報	・情報リテラシーを身につけるとともに、グローバルなものの見方・考え方を身に付ける。
総合的な探究の時間	・三大行事（一高祭・一高オリンピック・歩く会）や委員会活動を通して豊かな人間関係を醸成する。 ・卒業生との交流の機会を設け、進学研究や職場訪問、キャリアガイダンスを通じて、「10年後の私」について考える。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

・高校生としての自覚を高め、望ましい集団生活を通して道徳的実践力を高める。
・ホームルームや教育活動全体を通じて、「学ぶ意味」「生きる目標」「学校生活の意味や目標」を考えさせる。
・「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」という人権感覚を身につけさせる。
・豊かな自然や優れた芸術に触れる機会を積極的に設け、豊かな感性を養う。
・他の人と共によりよく生きようとする態度や集団生活における規範等を尊重し、義務や責任を果たす態度や、具体的な人権問題に直面した際にそれを解決しようとする実践的な行動力を身につけさせる。
・進学研究や職業研究等を通して、自己の進路適性を理解させ、それぞれのキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる。

公民科

公共

・人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求・解決する活動を行う。
・広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きるため、平和で民主的な国家及び社会有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

（具体的な内容）
1　自己肯定感を高めるため、ケーススタディを取り入れ、他者の立場に立った共感的理解や想像力を身に付ける。
2　社会参画への意識を高めるため、校則や学級のルール等について、問題点や改善点を話し合う。
3　社会情勢を理解するため、新聞記事や書籍等を参考にして、現代社会や地域の抱える問題点について話し合う。

生徒指導

・生徒の自立と社会の一員としての自覚を促す指導の充実。
・規範意識の高揚とリサイクル運動への参加。
・存在感や所属感を実感できるHRづくり。
・教育相談体制の確立。
・共感的な生徒理解。
・学校の実態を踏まえた人権教育の推進。

家庭との連携

・家庭との連携による望ましい生活習慣の確立と情報交換。
・学校ホームページ、進路通信、学年・学級通信等による学校生活や進学等に関する教育情報の提供。
・生徒指導委員等の協力による登校指導・挨拶の励行。

地域社会との連携

・地元市役所や企業との連携によるペットボトルや文具等のリサイクル活動。
・交通安全マナーアップを地域の小学校や中学校と連携して行う。
・文化講演会や授業、部活動の一般公開を行う。
・一高祭（文化祭）の一般公開による地域住民との交流